

浦野神父の教会日誌

時々かかってくるあの電話

先日、一本の電話がかかってきました。年に3～4回かかってくるものです。それに対応すると、たいてい相手を怒らせてしまう電話です。

「今度、子どもが結婚することになりましたので、結婚のための洗礼証明書を発行してください」「了解しました。しかしなぜ結婚する本人がかけてこないのでしょうか。結婚するのはあなたではないですよね」

こうなると相手が怒った様子ははっきりと伝わってきます。「子どもはとても忙しい」とか「今遠方に住んでいる」などのあまり説得力のない理由ですが、明らかにこちらが悪役です。勇気を出してかけた電話にこのように対応されると仕方ないのかもしれませんが、相手同様、こちらも後味の悪いものです。

双方が嫌な思いをしない方法があります。証明書発行のための文書（氏名、受洗年月日、洗礼名、挙式教会などを記入した）を作り、返信用の封筒を同封して送付する方法です。先日の電話の折にもそのようにお願いしましたが、あれから3週間近くたっても、依頼の手紙は届いていません。こんな思いをしてまで教会で挙式するつもりはないという決断を与えてしまったのでしょうか。

(2012.7.22)